

2021年7月29日

各位

株式会社 ENEOS NUC

超高压・高压電線絶縁用ポリエチレン設備能力を増強

株式会社 ENEOS NUC（代表取締役社長：北原 英一郎）は、このたび、超高压および高压電線の絶縁用途に使用される架橋絶縁用ポリエチレンと半導電性ポリエチレンの生産能力を2023年12月に約3万トン増強する設備投資を行いますので、お知らせいたします。

欧州を筆頭に世界各国での脱炭素化に向けた計画や SDGs 達成に向けた取組みにより太陽光発電・洋上風力発電等の再生可能エネルギーの導入が進み、近年その開発は加速しています。こうした背景から送電線として使用される超高压および高压電線は世界的に高い需要成長が見込まれており、これに合わせて地中送電用電線の絶縁材として用いられる架橋絶縁用ポリエチレンの需要も急速に高まっています。更に、送電の地域間ネットワーク化が欧州では既に着工段階で、アジアや日本においても将来のネットワーク化が検討されており、送電線の更なる需要成長も見込まれています。

これらの電線は社会的にも重要なインフラです。極めて高い信頼性が求められ、日本の技術は世界トップクラスとして高く評価されています。

当社は、重要なインフラの一つである地中超高压・高压電線に使用される架橋絶縁用ポリエチレンを30年以上開発・生産・販売しており、交流において最高電圧である500kV地中送電線の架橋絶縁用ポリエチレンにおいては世界で初めて販売を開始した実績を持っています。優れた品質性能と長期間における使用実績によって、当社は世界の電線会社からトップクラスのメーカーとして高い評価を頂いています。

これまでの実績と共に研究開発と品質改良を積重ねた結果、当社の架橋絶縁用ポリエチレンは電気特性に優れ、クリーン度が極めて高く、電線の加工性にも優れた世界トップクラスの材料として世界的に高い評価を得ており、アジアを中心に各国の超高压・高压電線で使用されています。昨今では欧州の電線メーカーからも供給を要請されています。

こうした世界の主要電線会社の供給増要請に裏付けられた架橋絶縁用ポリエチレンの需要成長に応えるべく、当社は最新の設備を導入し超高压・高压電線用架橋絶縁用ポリエチレンの生産能力を年産約3万トン増強することを決定しました。新設備は約120億円の投資となり、当社の川崎工業所内に建設する予定です。新設備は2023年7月に完成し、2023年12月から販売を開始する予定です。

当社は、この度の設備増強と2020年に商業運転を開始した超高压・高压直流(HVDC*)電線用架橋絶縁用ポリエチレンを柱に、世界・アジア・日本の架橋絶縁用ポリエチレン市場において重要な役割を果たします。更なる技術開発や市場成長に合わせた供給体制の更なる検討を続け、将来の社会インフラの構築に貢献することを目指します。

また、当社は、ENEOSグループの一員として「技術立脚型商品」による事業活動を推進していま

す。このたびの生産設備の増強も世界的に拡大している再生可能エネルギーの普及に大きく貢献するものと期待いたします。

* HVDC: High Voltage Direct Current

以上

会社概要

会社名	株式会社 ENEOS NUC
代表者	代表取締役社長 北原 英一郎 (きたはら えいいちろう)
設立年月	1961年1月
資本金	20億円
所在地	本社：神奈川県川崎市川崎区駅前本町12番1号 川崎駅前タワー・リパーク10階 川崎工業所：神奈川県川崎市川崎区浮島町8番1号
事業内容	高圧法低密度ポリエチレンおよび直鎖状低密度ポリエチレンの製造、販売

本件に関するお問い合わせは、以下の通り

株式会社 ENEOS NUC 事業本部 販売部
 神奈川県川崎市川崎区駅前本町12番1号 川崎駅前タワー・リパーク10階
 電話 044-221-1612

株式会社 ENEOS NUC 上海代表処
 電話 +86-21-6468-6230



超高压・高压電線ケーブルの写真



2020年に商業運転を開始した、超高压・高压
 直流電線用絶縁製造設備